

平成26年度(2014)

公益財団法人 出雲市芸術文化振興財団

事業報告

平成 26 年度(2014)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業報告

I 概況

公益財団法人出雲市芸術文化振興財団は、平成 25 年 4 月 1 日に公益財団法人に生まれ変わって以来 2 年目に入り、芸術文化の振興を目的として公益事業の推進に一層取り組むとともに、法人改革の狙いの一つである「民による公益の増進」を根底に据え、躍動する法人としての職員の意識改革に努め、規則規程の見直しや、組織の見直し、マネジメントの統合等を進めてまいりました。

こうした取り組みは、芸術文化事業や、博物館事業において、また、貸館事業においてそれぞれ着実にその成果を残してきました。

芸術文化事業において、第 20 回を迎えた出雲総合芸術文化祭事業では、大好評のうち質の高い公演を催した「松竹大歌舞伎」、次世代鑑賞者の育成のため劇団四季ファミリーミュージカル「魔法をすてたマジョリン」など多彩な事業を展開する一方、出雲芸術アカデミーでは、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」の施行により文化庁が推進する当該活性化事業に係る補助事業を活用し、芸術文化活動を担い支える人材の育成や、子どもから大人まで多くの市民に楽しんでいただけるよう事業の充実を図るなど、「音楽のまち 出雲」の一翼を担ってまいりました。

また、博物館事業においては、出雲文化伝承館、平田本陣記念館の両館におけるそれぞれの持ち味とスケールメリットを活かし、連携した企画展示や共同展示などを行うため事業の充実を努めてまいりました。

他方、施設管理業務においても、指定管理者として出雲市民会館、出雲文化伝承館、ビッグハート出雲、平田文化館、平田本陣記念館、大社文化プレイスうらら館などの管理、及び大社図書館の施設管理を別途受託し、出雲市の 6 つの文化施設、1 つの教育施設を管理運営してまいりました。

平成 25 年度に開催された出雲大社の正遷宮に関連したイベント、会議等は、それぞれの施設の特徴、地域性を活かした形で各館で開催されていましたが、平成 26 年度は一段落したところです。

市における条例改正に伴う平成 27 年 10 月からの使用料改定に備え、平成 26 年度末に施設予約管理システムを見直し利用者の利便性向上に努めるとともに、今後ともスムーズに的確な事務処理に心掛けてまいります。

当財団は、引き続き出雲市における芸術文化の振興、発展に貢献する公益事業を展開

するとともに、事業と施設が一体となり、また、それぞれの地域のニーズに柔軟に応え、利用者の一層の利便性を高めてまいります。

Ⅱ 公益目的事業

1. 芸術文化事業

(1) 出雲総合芸術文化祭事業

市の条例をもとに制定されている「出雲市芸術文化振興指針」に基づいて、「本物志向と住民参加」をテーマに、優れた芸術作品や芸術家を招致する鑑賞事業や、地域住民が中心となって組織した実行委員会が企画、運営する自主事業を中心に幅広く取り組んでまいりました。

鑑賞事業では、「本物志向」の観点から昨年度より特に重点的に取り組んでいる若い世代の鑑賞能力の育成を目指した次世代鑑賞者育成事業として、子ども向けの質の高い3事業を展開しました。いずれも全国的に高い評価を得ている公演で、多くの親子連れ、家族連れでにぎわい、子どもたちの鑑賞能力の向上につなげることができました。

また、日本文化の継承を目指して開催する松竹大歌舞伎では、歌舞伎界にとどまらず広く芸能活動を展開している知名度の高い歌舞伎役者が出演するなど、演目の良さも加わり、入場券が即日完売するほどの大好評のうちに開催することができました。歌舞伎公演については質の高い公演を選定し開催していますが、まさに出演者、演目ともに最高品質の公演を開催することができ、歌舞伎に高い関心を持つ人のみならず、初めて歌舞伎を鑑賞する人たちを劇場へ誘引する大きなきっかけ作りとすることができました。この他大衆演芸分野での事業にも取り組み、鑑賞事業としては子供から大人まで性別を問わず多くの市民に楽しんでいただくことができました。

その結果、積極的な広報に努めた効果もあり、ほとんどの事業で入場率が80%を超えるなど、より多くの市民に質の高い、優れた芸術作品を鑑賞していただくことができ、市民一人ひとりの芸術鑑賞力の向上につなげることができました。

一方、「住民参加」をテーマに地域住民が中心となって運営している自主事業においても、20回目を迎えた「わたしのうたコンサート」ではその集大成版として過去の優秀作品を披露するコンサートを開催しました。その他、囲碁・将棋フェスティバルや音楽コンクールなど継続的に取り組んでいる事業においても、事業の趣旨を踏まえつつ対象分野を見直すなど少しずつ内容を工夫しながら事業効果があがるよう改善に努めました。特に、今回初めて文化庁の支援を受け盛大に開催した「出雲の春音楽祭 2015」では、専門家の指導、助言により従来の器楽と声楽に加え、新たに日本舞踊の要素を加えて新しい音楽祭として開催し、大勢の聴衆から喝さいを博しました。

また、工芸展など展示事業にも取り組むとともに、地域の芸術文化における人材育成の観点から一般市民を対象としたアートマネジメント研修を、事業の企画運営やオペラ、古典芸能などをテーマに様々な分野を対象として多数開催し、多くの市民への研修機会

の提供に努め地域の文化力向上につなげました。併せて人材養成交流事業として職員の先進施設派遣を実施し、マネジメント能力の向上を図りました。

このように事業開催から研修の実施までさまざまな視点から地域の芸術文化振興に取り組んでおり、今後も引き続き常に新しい分野、新しい要素を取り入れながら地域の文化力向上に努めてまいります。

①鑑賞事業

NO	事業名・概要	観客数 等	事業費（円）	財源内訳（円）		
				入場料	助成金・ 雑収入等	指定管理料
1	劇団かかし座影絵劇 「長靴をはいたねこ」 6月29日（日）、うらら館 子ども向けの影絵と芝居で楽しむア ドベンチャーストーリー	515人	1,786,227	365,800	1,209	1,419,218
2	親子のためのクラシックコンサート 「音楽の絵本」 7月12日（土）、うらら館 動物たちが織りなす不思議なクラッ シックコンサート	546人	3,185,213	771,800	9,875	2,403,538
3	第25回出雲阿国松竹大歌舞伎 9月3日（水）、出雲市民会館 出演：中村梅玉、市川猿之助、市川中 車ほか 演目：「小来栖の長兵衛」「義経千本桜 川連法眼館の場」ほか	2,290人 (2回公 演)	12,581,857	13,307,600	121,370	△847,113
4	劇団四季ファミリーミュージカル 「魔法をすてたマジョリン」 10月18日（土）、出雲市民会館 子どもから大人まで楽しむことので きるファミリーミュージカル	843人	5,073,982	3,520,100	6,100	1,547,782
5	いっこく堂スーパーライブ ～スーパーボイスイリュージョン～ 2月22日（日）、平田文化館 天才腹話術師いっこく堂のボイスエ ンターテインメントとナポレオンの マジックショー	606人	4,547,296	2,020,200	2,257	2,524,839
小 計		4,800人	27,174,575	19,985,500	140,811	7,048,264

②自主事業

NO	事業名・概要	観客数等	事業費(円)	財源内訳(円)		
				入場料・参加料等	助成金・雑収入等	指定管理料
1	将棋フェスティバル 7月27日(日)、出雲弥生の森 プロ棋士による指導対局、第4回里見 香奈杯ジュニア将棋大会 講師：森雞二九段、香川愛生女流王将	対局34人 大会50人	416,052	48,000	—	368,052
2	出雲囲碁フェスティバル 8月2日(土)、うらら館 プロ棋士による指導対局、第12回出 雲ジュニア囲碁大会 講師：桑本晋平六段、巻幡多恵子四段	対局19人 大会72人	466,986	42,000	—	424,986
3	第13回いずも音楽コンクール 1月8日(土)、9日(日)、 ビッグハート出雲 小中学生を対象とした歌唱、弦楽器、 ピアノ部門のコンクール	参加135人 入場430人	594,595	130,500	150,035	314,060
4	第20回わたしのうたコンサート 12月14日(日)、うらら館 歌詞を公募し、入選作品に曲を付けて 発表するコンサート。今回は第20回 記念として過去の作品を10作品紹介	400人	1,522,640	—	—	1,522,640
5	第13回いずも新春コンサート 1月11日(日)、ビッグハート出雲 クラシックを中心に地元出身の音楽 家による新春のコンサート	参加13人 入場297人	429,477	358,500	—	70,977
6	出雲の春音楽祭2015 3月29日(日)、出雲市民会館 器楽と声楽の祭典に新たに舞踊を加 えた自主制作の音楽祭。第1部は合唱 と箏、第2部はオーケストラと日舞	入場709人	7,196,587	1,247,800	2,133,000	3,815,787
7	第12回サウンドフェスタ大心路 8月31日(日)、ビッグハート出雲 出雲地域で活動する音楽家やダンサ ーチームによるライブ	参加12組 入場256人	400,000			400,000
8	山本二三展 2月7日(金)～3月15日(日) 出雲文化伝承館 日本アニメ界を代表する背景画家の ジブリ作品などの作品を一堂に展示	20,370人	1,000,432	—	—	—
9	平成26年度公募展優秀作品展 2月27日(金)～3月1日(日) 出雲市民会館 各公募展での優秀作品を展示	277人	236,465			236,465

10	出雲市美術展第16回工芸展 2月27日(金)～3月1日(日) 出雲市民会館 一般市民が制作した素材を生かした 個性豊かな作品を多数展示	277人	33,476	13,500		19,976
小計		23,351人	12,296,710	1,840,300	2,283,035	7,172,943

※「8山本二三展」の事業費の財源は、上記以外の財源(自主財源1,000,432円)である。

③人材育成事業

NO	事業名・概要	観客数等	事業費(円)	財源内訳(円)		
				入場料・参加料等	助成金・雑収入等	指定管理料
I	企画制作コース 8月29日(金)～31日(日) 燦プラザ、うらら館 講師：柴田英紀 オペラ制作コース 11月1日(土)、出雲市民会館 講師：石田麻子 古典芸能コース 3月28日(土)、出雲市民会館 講師：葛西聖司	37人	416,496	23,500	108,000	284,996
小計		37人	416,496	23,500	108,000	284,996
全体管理費(出雲総合芸術文化祭全体管理経費)			3,660,102		139,037	3,521,065
合計		28,188人	43,547,883	21,849,300	2,670,883	18,027,268

④後援に関する実績

地域における芸術・文化の水準を高め、市民に広く芸術・文化の振興を図ることを目的に、出雲市内で企画、実施される催しで、財団が定める後援の要件を満たす場合に名義後援を承諾しました。

平成26年度後援承諾件数 17件

(2) 出雲芸術アカデミー事業

出雲芸術アカデミー事業は、平成26年度文化庁「劇場・音楽堂等活性化事業」の公演事業、人材養成事業、普及啓発事業の補助を受け、演奏会活動、講座運営、アウトリーチ活動の強化・充実を図りました。実施にあたっては、年2回の運営委員会、指導者会、月2回程度の企画会、教授会で検討を加え、「音楽のまち出雲」の推進や芸術文化活動の担い手の育成に力点を置きました。

まず、人材育成を行う「音楽院」として、幼児科、本科、別科の3つの科、7つのコースで開講し、521人の受講生を迎えました。

さらに、講座の拡充を図り、11月には、特別講座として日本文化講座を新設のうえ、「舞踊アンサンブルクラス」及び「箏曲アンサンブルクラス」を開講し、14名の受講生を迎え、合計535人の受講生を指導育成し講座の運営を安定的に行いました。

一方、演奏会活動では、「出雲フィルハーモニー交響楽団」及び「出雲 Jr. フィル」を中心に4つの演奏会を開催し、特に、「出雲フィルハーモニー交響楽団第18回定期演奏会」においては、ソリストとしてサクソフォンの第一人者である長瀬敏和氏を迎えて、「サクソフォン協奏曲」を演奏し、吹奏楽関係者にも来場をいただき好評を得ました。

また、出雲 Jr. フィル・プロムナードコンサートⅡでは、出雲市の委嘱作品である「出雲讃歌」をジュニアでは初めて演奏し、ジュニアコーラスとジュニアオーケストラが一つになった「出雲 Jr. フィル」の魅力を地域に発信することができました。

普及啓発としてのアウトリーチ活動は、市内37か所の学校及び福祉施設へ出かけ、演奏、講座を行いました。また、多くの市民の皆さんに楽しんでいただくため、市役所ロビーコンサートの監修・出演は2カ月に1回行い、平成26年度は初めて、市議会の議場でコンサートを開かせていただき、生の演奏を届けるとともにアカデミー活動の推進と理解を得られるよう広報活動に力を入れるとともに、本番前に事前の通し稽古を行い、演奏者と講師で批評するなどクオリティの向上とプログラム開発にも努めました。

今後も引き続き、「音楽のまち出雲」を推進していく中で、音楽だけではなく日本舞踊とも融合しながら新しい魅力作りのために、地域に根ざした芸術文化の振興と育成に努めてまいります。

① 講座（平成26年4月～平成27年3月）

科・コース名 講座名	対象	受講者数	回数	受講料
幼児科・親子リトミック	幼児と保護者	198人(99組)	年間20～22回	月1,000円
リトル	3歳児	44人(22組)		
マミー&ミー	4～5歳児	114人(57組)		
トライ&ドゥ	6歳児	40人(20組)		
本科		179人	年間40～44回	

リトミック	小1~3	22人		月2,000円
合唱	小4~高2	38人		月2,500円
オーケストラ	小1~高2	119人		
入門	初心者	23人		月5,000円
オーケストラ	経験者	96人		月3,000円
別科・合唱/オーケストラ/邦楽		144人		
コーラスリーダー	18歳以上	67人	月2回程度	月2,500円
オーケストラリーダー		57人	月2回程度	月2,000円
邦楽合奏		20人	月1回程度	月1,000円
3科合計		521人		
特別講座				
ジュニア日本文化講座	小1~高2	14人	月2回程度	月2,000円
舞踊アンサンブル		3人		
箏曲アンサンブル		11人		
受講者合計		535人		

② 演奏会等

NO	事業名・概要	観客数等	事業費(円)	財源内訳(円)		
				入場料	参加費・支援金	補助金等
1	第9回ファミリーコンサート (会場:大社文化プレイスうらら館) 開催日:4月20日(日) 内容/本科リトミック・合唱・オケ、 別科合唱による演奏	497人	1,404,486	304,100	208,000	892,386
2	出雲フィルハーモニー交響楽団 第18回定期演奏会 (会場:出雲市民会館) 開催日:7月21日(月) A.Sax 生誕200年の記念イヤーでサ クソフォン協奏曲を演奏	1,090人	3,738,555	1,122,300	293,500	2,322,755
3	出雲 Jr.フィル プロムナードコンサートⅡ (会場:大社文化プレイスうらら館) 開催日:11月16日(日) 天地のるつぼ(出雲讃歌)を初めて ジュニアで演奏	486人	1,962,105	446,000	200,000	1,316,105
4	うたなかまコンサート2015 (会場:大社文化プレイスうらら館) 開催日:1月18日(日) 幼児科で学ぶ親子のステージと、講 師のステージによるコンサート	296人	510,593	109,700	77,000	323,893

5	アウトリーチ 音楽と音楽家出前します 2014 会場:保・幼・小、福祉施設・学校 開催日:6月~2月 講師による演奏を市内の 37 施設で 実施	3,973 人	621,940			621,940
合 計		6,342 人	8,237,679	1,982,100	778,500	5,477,079

(3) 出雲メセナ協会事務

出雲メセナ協会については、文化団体を財政支援する財政支援事業として9事業、市内の小学校に芸術家を派遣する芸術家派遣事業を6事業行いました。

会員は平成26年12月31日現在で233会員、639口で6,390,000円となりました。また、財団との共催事業で、松竹大歌舞伎及び劇団四季ファミリーミュージカル「魔法をすてたマジョリン」を実施し、会員の皆様にも財団の事業を鑑賞していただきました。

2. 博物館事業（出雲文化伝承館、平田本陣記念館）

博物館事業では、市民や来館者の皆様に優れた芸術文化や歴史民俗を紹介するとともに、さまざまな伝統文化に触れまた感性を伸ばしていただきながら、あわせて郷土の魅力を再認識し誇りをもっていただくことをめざし事業を行いました。

事業実施にあたっては地域との密接な連携、協働を図りながら、地域に根ざした内容に留意して(1) 展示事業 (2) 出雲和文化交流会事業 (3) 地域芸術文化活性化事業 (4) 呈茶事業 (5) 文化財保存公開事業を行いました。加えてこの博物館事業により出雲文化伝承館、平田本陣記念館両館の利用促進を推進し、各施設の特性を活かし活用するよう努めました。

展示事業については、文化伝承館では特別展「没後 200 年 名工如泥とその道統」をはじめとする 7 つの展覧会を行い、本陣記念館では「長谷川摂子展」など 5 つの展覧会を開催しました。また 2 館合同開催の「観じる民藝」展を開催して連携を図りました。

これら二館の観覧者の総数は 10,352 人でした。とくに文化伝承館での「没後 200 年 名工如泥とその道統」展は、東京国立博物館所蔵の名品を展示するなど、50 年振りの顕彰展として好評でした。本陣記念館での「長谷川摂子展」は地元出身の絵本・児童文学作家の顕彰展で、同氏の業績を網羅し充実した展示内容となりました。

出雲和文化交流会事業では、12 回目となる「出雲和文化まつり」を文化伝承館で開催しましたが、初めて特産品の販売や出雲なんきんの展示即売等を行い、より広く出雲文化の発信、普及につとめ好評で参加者は 1,700 人と前年を大きく上回りました。

また、地域芸術文化活性化事業では 13 の子ども教室を開催するなか、昨年引き続き幼稚園 2 園へ邦楽邦舞「ミニ鑑賞会」のアウトリーチを行いました。大人対象では 5 つの講座・文化講演会を開催し、合計 131 人の参加があり、伝統文化の継承、芸術文化振興を図りました。さらに新規事業として開催した「出雲の祝膳」も好評のうちに終了し、郷土資料活用事業では塩冶神社元宮司家・秦家の資料を整理して、郷土史の一端を明らかにしました。

呈茶事業では伝承館は 2,619 人、本陣記念館は 462 人の利用があり、茶室等での茶道文化普及に努めました。なお伝承館で「山本二三展」（山陰中央新報社主催）開催中には、初めてお茶室を利用された方も多く、文化伝承館の魅力を改めて理解いただきました。

【出雲文化伝承館 入館者数】

年度区分	開館日数	入館者数	文化工房 入館者数
26年度	320日	86,742人	21,799人

※開館からの入館者総数 1,493,663人

【平田本陣記念館 入館者数】

年度区分	開館日数	入館者数
26年度	307日	13,829人

※開館からの入館者総数 654,978人

(1) 展示事業

文化伝承館の展示事業では、3つの特別展「没後200年名工如泥とその道統」展(25年度継続事業)、「出雲焼」展、「華麗なる武家文化」展を開催しました。企画展では「出雲の社寺宝物展」、「有馬侃回顧展」を開催し、これらは主に郷土ゆかりの展示内容で、日頃の調査研究に基づいた展示事業を行いました。また2館同時開催として「観じる民藝」展を開催し2館の連携をはかりました。加えて10月に97歳で逝去された元出雲市洋画連盟会長・杉谷常吉氏の遺作展を開催し、その業績を称えました。文化伝承館の観覧者数は6,641人でした。

本陣記念館では「大正ロマン昭和モダン展」(25年度継続事業)、「長谷川摂子展」、「川角町子展」、「郷土ゆかりの日本画展」の平田地域にゆかりの深い展覧会を中心に4つを開催し、また上記の2館同時開催の「観じる民藝」展を開催しました。観覧者数は3,711人でした。

また広報ではソーシャルメディアの活用として、文化伝承館ではすでにフェイスブックを開設しより幅広く情報発信を行っており、来年度は本陣記念館でも開設して連携を強め誘客に努めます。

今後は、より魅力ある展覧会とするため当博物館事業のミッションと収益のバランスを図りながら、事業の集中と精選、関連イベントの企画、広告宣伝の工夫と情報発信、また展覧会別にアンケートを用意するなど観覧者のニーズ把握につとめて集客を図ります。

①出雲文化伝承館

展覧会名 展示内容	会期 (公開日数)	観覧者数 (<small>〇</small> は観覧者に含む)	観覧料	観覧料収入
特別展「没後 200 年名工如泥とその道統」 不昧公に寵愛された出雲の木工指物の名工如泥の顕彰展。県内外から 121 点を展示。 ・講演会（川北良造氏） ・木匠展（現代郷土木工芸展）	4/2～5/11 (38 日間)	1,020 人	一般 700 円 高校生以下 無料	524,300 円
	4/28	80 人	無料	
	5/2～5/6	486 人	無料	
企画展「出雲の社寺宝物展」 北島国造家、日御碕神社、斐川永徳寺等の宝物を展覧。重文を含む総数 63 点。	6/14～7/21 (33 日間)	610 人	一般 500 円 高校生以下 無料	199,450 円
企画展「有馬侃回顧展」 出雲市を代表する洋画家、有馬侃画伯の回顧展。総数 38 点。 ・ギャラリートーク 北本雅己氏 ・ギャラリートーク 鳥屋尾敬氏	7/26～9/23 (53 日間)	767 人	一般 300 円 高校生以下 無料	148,100 円
	8/10	(30 人)		
	8/24	(40 人)		
特別展「出雲焼」展 出雲の藩窯、楽山焼と布志名焼の名品を展示。県内外から 140 点を展示。	10/18～11/30 (40 日間)	1,934 人	一般 720 円 高校生以下 無料	907,400 円
2 館同時開催「観じる民藝」展 日本民藝館の学芸員として活躍された民藝収集家、尾久彰三氏の個人コレクションから 188 点を展示。 ・ギャラリートーク 尾久彰三氏	12/13～2/1 (41 日間)	550 人	一般 610 円 高校生以下 無料	181,510 円
	12/13	(20 人)		
特別展「華麗なる武家文化 - 武家の表道具と奥道具 -」 京都の高津古文化会館の協力により武具、能道具、茶道具、婚礼調度など華麗な武家文化の優品 69 点を展示。	3/28～3/31 (4 日間)	854 人	一般 720 円 高校生以下 無料	343,060 円
杉谷常吉遺作展 元出雲市洋画連盟会長として尽力された氏の遺作展。10 点を展示。	1/4～2/1 (27 日間) 文化工房展示室	340 人	入場無料	—
小 計	236 日	6,641 人		2,303,820 円
その他収入 (図録販売収入ほか)				710,466 円
小 計				3,014,286 円

②平田本陣記念館

展覧会名 展示内容	会期	観覧者数 <small>()は観覧者に含む</small>	観覧料	観覧料収入
「大正ロマン昭和モダン」 竹久夢二、高島華宵、鏑木清方、伊藤深水など大正から昭和を代表する画家の肉筆、新版画、創作版画など中右瑛コレクション 76 点を展示。	4/5～5/25 (44 日間)	695 人	一般 510 円 小中高生 200 円	258,550 円
「長谷川摂子展」 平田出身の絵本・児童文学作家長谷川摂子氏の没後 3 年にあたる回顧展。代表する絵本と原画総など 169 点を展示。	6/7～10/5 (100 日間)	1,812 人	同上	448,340 円
講演会 ましませつこ氏	8/2	(34 人)		
絵本ワークショップ //	8/3	(20 人)		
「川角町子展」 平田、小伊津出身の洋画家川角町子氏の展覧会。近代美術協会会員として活躍中の同氏の近作 73 点を展示。	10/18～11/23 (32 日間)	488 人	同上	118,080 円
・ギャラリートーク 川角町子氏	10/18	(30 人)		
2 館同時開催「観じる民藝」展 民藝収集家、尾久彰三氏の個人コレクションから 159 点を展示。	12/13～2/1 (39 日間)	391 人	同上	141,480 円
・ギャラリートーク 尾久彰三氏	12/13	(13 人)		
「郷土ゆかりの日本画」展 中央画壇で活躍した作家をはじめ出雲ゆかりの画家の作品 62 点を展示。	2/22～3/22 (25 日間)	325 人	同上	90,180 円
小 計	240 日	3,711 人		1,056,630 円
その他収入				156,081 円
合 計				1,212,711 円

(2) 出雲和文化交流会事業

平成 14 年に和文化の普及を目的に発足した和文化交流会との共催で、12 回目の出雲和 cultura まつりを文化伝承館において開催し伝統文化の発信につとめました。本年は初めて交流広場で特産品販売や出雲なんきんの展示即売等も行って賑わいを創出し好評でした。参加者は 1,700 人でした。

事業名	内 容	参加者数
第12回 出雲和文化まつり	① 日本舞踊 箏曲・邦楽演奏 出雲邦楽邦舞連盟 (11/22 出雲屋敷) ② 子ども日本舞踊・こども箏教室発表 (11/23 出雲屋敷) ③ 子どもいけばな教室作品展示 (11/22～23 出雲屋敷) ④ 呈茶 11/22 裏千家 11/23 三斎流 (松籟亭) ⑤ 生け花展示 出雲市華道連盟 (11/22・23 文化工房) ⑥ 勾玉アクセサリー作り 協力(株)めのや (11/22 文化工房) ⑦ 和菓子職人になろう 出雲菓子協会 (11/24 文化工房) ⑧ 地元特産品販売 (11/22・23) ⑨ 出雲なんきん 展示即売 (11/23)	1,700人
	収 入 計	622,930円

(3) 地域芸術文化活性化事業

①こども文化教室

普段触れることが少ない伝統文化や芸術文化を楽しく学び、関心を深めることを目的に13の体験教室を開催し、計669人の参加者がありました。今後も幅広いコースを工夫し、子どもたちに郷土の良さや誇りを伝え伝統文化のすばらしさを体験していただきます。

②一般対象文化講座

絵画教室など5つの講座・講演会を開催し、計147人の参加者がありました。学芸員等が講師となる講座も企画し好評でした。今後も地域や財団の講師を活用するなど、2施設の魅力を広めます。

③「出雲伝統の祝膳」講座

婚礼、葬送など人生の節目の行事は、かつては「家」で行われ、参集のお客にお祝い、お斎(と)きの食膳でもてなしました。今回の講座では文化伝承館の出雲屋敷を会場に、明治39年に地元で行われた人生最大の晴れの行事「婚礼」のもてなし料理の一部を再現しました。当時は長時間にわたり次々と祝宴の食事が供されましたが、今回は本膳、二ノ膳、大皿引き分けを食体験していただき、またそのほかの料理は蠟細

工などで補い、わかりやすく説明し好評でした。また地元の若手料理人の方々にも、またとない調理研修の機会となり伝統継承の事業となりました。

④郷土資料調査活用事業

元塩冶神社宮司家・秦家の寄託資料を整理活用する事業を行い、掛軸、古文書など約 800 点を整理しました。本事業では郷土神社史の一部が明らかとなり、また幕末期の上塩冶、伊藤宜堂の家塾「有隣塾」関係史料も多く含まれていることがわかりました。この貴重な成果は 27 年度展示事業「出雲の社寺宝物展(Ⅱ)」と講演会等で公開、発表します。

①子ども文化教室 ②一般対象文化講座 ③「出雲伝統の祝膳」講座 集計

教室名	参加者	講師	参加費	備考
こども箏教室 (通年)	11 人	出雲邦楽邦舞連盟	月 2,500 円	月 2 回
こども日本舞踊教室 (通年)	4 人	出雲邦楽邦舞連盟	月 2,500 円	月 2 回
こどもいけばな教室 (通年)	12 人	出雲市華道連盟・池坊	月 1,500 円	月 1 回
やきもの教室	2 回 50 人	糸賀正和氏ほか	1,000 円	(一社)出雲市文化協会助成事業
水彩画教室	1 回 54 人	板倉幸昌氏 金築秀俊氏 福田佳史氏	500 円	
和菓子づくり お抹茶体験教室	1 回 23 人	出雲菓子協会、不味流	1,000 円	
箏・日本舞踊体験教室	1 回 14 人	出雲邦楽邦舞連盟	300 円	
お話会 (郷土昔話)	1 回 50 人	いずも民話の会	無料	
学校茶道合同茶会	1 回 143 人	裏千家	こども無料 一般 500 円	
お箏と踊りミニ鑑賞会 (アウトリーチ)	大津幼稚園 四絡幼稚園 計 264 人	出雲邦楽邦舞連盟	無料	
親子注連縄作り教室	1 回 17 人	大坪弘衛氏ほか	510 円	
いけばな教室	1 回 15 人	出雲市華道連盟・小原流	1,200 円	
※注連縄づくり教室	1 回 12 人	金山一雄氏ほか	510 円	
◆こども文化教室小計	669 人			
絵画教室	1 回 32 人	出雲市洋画連盟委員	1,000 円 (高校以下無料)	
掛軸教室	2 回 16 人	伝承館次長	410 円	

※掛軸教室	1回 7人	本陣記念館係長	510円	
和歌を詠む講座	1回 22人	伝承館副館長	410円	
文化講演会 「歴史の中の日本料理」	1回 70人	四條隆彦氏	無料	
◆一般対象文化講座小計	147人			
出雲伝統の祝膳	40人	後援 島根県日本料理調理技能士会・島根県庖友会	10,000円	
■ 合計	856人		1,007,870円	

※は本陣記念館で開催

(4) 呈茶事業

もてなしとお茶の文化が古くから大切にされてきた出雲において、茶道文化の伝承と普及を図るため文化伝承館では「松籟亭」、本陣記念館では「庭園鑑賞ホール」で呈茶事業を行いました。文化伝承館の本年の呈茶利用者は2,619人でした。「山本二三展」開催中に、関連キャラクターの和菓子を提供したところ、予想以上の反響があり多くの利用者に楽しんでいただきました。また茶室利用が初めての方も多く好評でした。本陣記念館の呈茶は462人でした。

(5) 文化財保存公開事業

①文化財保存公開

出雲文化の伝統を象徴する文化伝承館の「出雲屋敷・出雲流庭園」、茶室「松籟亭」、
「独楽庵」、また本陣記念館の「御成門・御成座敷・出雲流庭園」、茶室「悠々庵」の
公開保存と活用を図りましたが、開館後20数年を経過して両施設の老朽化が進行して
おります。建築物や庭園は一体となった落ち着いた景観を維持する必要があり、一
層適正な管理と保存に努めます。

②公開

文化伝承館では市内の小、中学校、高等学校、専門学校、大学等の利用は5回231
人で、美術の授業や茶道学習、初釜等で利用いただきました。一般対象は文化サークル
や外国からの団体、老人・婦人団体、社会教育団体、事業所などの研修会等において館
長、副館長、次長などが講師となり18回467人に講話や説明を行いました。

また本陣記念館での市内小学生対象の館長による民具の解説は好評で13校(17

回)600 人の入館があり、また老人会、社会教育団体、福祉団体など 139 人、合計 739 人の利用がありました。なお本年度は介護施設に利用案内を送付したところ 15 施設 (28 回) 約 400 人の利用があり幅広い利用促進に努めました。

③寄贈

本年度の文化伝承館への寄贈作品は 9 件 ア、小豆澤禮作 日本画 1 点、イ、堀江友声 掛軸 1 点、ウ、民俗信仰資料 (版画等) 7 点、エ、槇原郁朗作 洋画 4 点 オ、荒川亀齋 作 扁額 1 点、カ、堀田玉映 掛軸 1 点、キ、山口華楊ほか筆 画帖 1 点、ク、不昧筆 掛軸 1 点、ケ、塩田鉄香筆 掛軸 1 点 でした。本陣記念館には川角町子作 洋画 7 点の寄贈がありました。一部は本年度展覧会に活用させていただきました。今後も貴重な文化財や美術工芸品の収集をはかり、館蔵品の充実につとめます。

④収蔵資料の貸出・特別利用

収蔵品の貸出や特別利用 (熟覧、撮影等) 等を行って、その適正な活用と管理に努めました。

期間・期日	資料貸出・特別利用	貸出先・調査者	資料名
【伝承館】			
9月10日	撮影	東京大学資料編纂所	塩冶八幡宮文書 6通
10月18日～ 12月23日	「スサノヲの旅と精神」展 資料貸出	足利市美術館	木造神像9軀・ 須佐男命1幅
27年1月24日 ～3月22日	〃	DIC 川村記念美術館	〃
12月25日	『茶道雑誌三月号』 写真貸出	河原書店	布志名焼茶入 刷毛目筒水指
27年1月24日	熟覧	島根地理教育研究会	松江藩御仕置所秘図 ほか3点
27年2月4日 ～3月13日	「大江戸で鮮烈な光彩を放 った松江の刀工 高橋長信」 展貸出	松江歴史館	脇差 長信1振
27年2月15日 ～3月31日	「出雲の藍と青」展貸出	出雲弥生の森博 物館	藍甕2口 筒描襦袢2枚
27年2月22日 ～3月22日	「郷土ゆかりの日本画展」	平田本陣記念館	小豆澤禮作「春」「残 照」「春宵の月」3点

(6) その他

第23回早春の茶会（共催事業）

茶道各流派の協力により、伝承館恒例の茶会を開催しました。

参加者は1,106人で早春の伝承館で、充実したひとときをお楽しみいただきました。

事業名	内容	会期	参加者数
第23回 早春の茶会	三斎流、不昧流不昧会、表千家、裏千家の協力を得、伝統文化の正しい理解と地域文化の振興に努めました。会期は2日間で盛会でした。	平成27年 3月28日・29日 (2日間)	1,106人

3. 貸館事業

(1) 概況

出雲市民会館、ビッグハート出雲、平田文化館、大社文化プレイスうらら館、出雲文化伝承館、平田本陣記念館の六つの文化施設について、昨年度に引き続き出雲市の指定管理者として施設の管理運営を行いました。

管理運営にあたっては、利用者とのコミュニケーションを深めながら施設の特性や地域性を活かした貸し出し等を提案するなどご要望にお応えし、また、施設設備の老朽に伴う修繕、改修にも即応しつつ、適切な維持管理に努めてまいりました。

このようななか、平成 26 年度の貸館事業全体としては、出雲大社の正遷宮に係るイベント、会議等は一段落し平年並みとなり利用料収入は 92,225,273 円、対前年比 1,429 千円余りと僅かながら増加しました。その増加要因は、ビッグハート出雲や出雲市民会館の営利利用についての料金加算の影響、及びビッグハート出雲の応接室などの利用回数の増などによるところです。

また、全施設を通した利用人数は、382,539 人であり、対前年比 23,000 人余りの増加となりました。施設の貸出し状況については、平田文化館や、大社文化プレイスうらら館、平田本陣記念館などの利用者が減少する一方で、立地や利便性の良さから会議や研修によくご利用いただいたビッグハート出雲や、本館展示室で「山本二三展」が開催された出雲文化伝承館で利用者が増加し、全体として増加したところではあります。

他方、市内の中学校、高等学校の音楽部の利用も活発であり、当財団としても、公益財団法人として、学校教育の一環としての利用については施設、設備利用料金の 5 割を減免し、ご期待にお応えするとともに、「音楽のまち出雲」の推進に大きく貢献しているところではあります。

それぞれの施設の貸出しの状況については、次の(2)以下に記載するところですが、「貸館事業」としては、芸術文化振興事業及び博物館事業の事業実施舞台として、芸術文化団体等が行う発表会・講演会及び練習等に広く一般市民に貸与し、芸術文化の振興及び伝統文化の伝承に寄与する「公益目的事業」と営利を目的とする大ホール等の利用や物販等の利用のために貸出しする「収益事業」があります。

その割合は、概ね 8 割が「公益目的事業」、残り 2 割が「収益事業」に分類され、その収支は次の通りです。(公益財団法人認定申請における過去の利用実績分析による。)

貸館事業の収支状況

(単位：円)

		収 入	費 用	収支差額
貸館事業	公益目的事業	241,094,188	245,399,572	△4,305,384
	収益事業	67,913,387	58,124,404	9,788,983
	合 計	309,007,575	303,523,976	5,483,599

(2) 出雲市民会館

出雲市民会館は出雲市のメインホールとして、また県内でもトップクラスの高い専門性を備えた劇場として様々な事業が行われました。当財団が行いました出雲総合芸術文化祭事業では、松竹大歌舞伎、劇団四季、出雲の春音楽祭の会場として、また音楽のまち出雲にふさわしく市内の高校、中学校の音楽部、出雲吹奏楽団をはじめ各種楽団の演奏会の会場として、その他演劇、コンサート、式典、講演会、研修会と多くの方々にご来場いただきました。

その結果、利用者数は大ホールが 80,565 人で前年度比 478 人、0.6%の増となり、施設全体では、121,973 人となり、同じく 2,314 人、1.9%の増となりました。

利用料収入につきましては 38,850 千円となり過去 10 年で最高の利用料がありました前年度に比べ 252 千円、0.6%の減収とほぼ同額となりました。

これを施設別にみますと、大ホールにつきましては夏の大きなイベントとして定着しております全日本吹奏楽コンクール島根県大会が松江、益田で開催されたことなどから、利用回数、利用料金ともに減少しました。他方、3階の会議室等では利用回数が軒並み増加したことに加え、平成 25 年 10 月に施行された条例改正に伴い営利加算の対象が増えたことによる増額により、総額では前年度とほぼ同額となったところです。

今後も、大ホールをはじめ会議室、展示室、多目的室などの施設につきましても、利用者のニーズを考慮した施設の利用方法の提案や、ホームページの充実等情報提供を行い、効果的に利用していただけるよう努めてまいります。

(3) ビッグハート出雲

ビッグハート出雲では、市民の多様な芸術文化活動にご利用いただく一方、立地や利便性の良さから会議や研修にもよくご利用いただきました。

その結果、平成26年度の利用者数は105,236人となり前年度比19.8%増加し、主要な施設の利用回数はやや減少しているものの利用回数も3,995回と前年度比5.3%の増になりました。

利用料収入は、大きく伸び26,549千円となり前年度比3,799千円の増収となりました。これは25年10月に施行された条例の改正による営利加算の対象が増えたのが主な原因だと考えています。

また当館の特徴でもありますが、ホール以外に黒、茶のスタジオ、会議室、応接室などの施設利用料も多くなっております。

平成26年度も地域芸術文化活性化事業を実施し、文化サロン登録団体の展示を中心として、地元今市地区からは雛飾りを展示していただき華やかさを添えていただきました。来場者へのアンケート調査でも高い評価を受けました。

また、平成26年度にはインフォメーションディスプレイを導入し催し物案内やチケットの取り扱い情報、文化団体などの活動状況も併せて紹介しています。

今後も施設、設備器具などの特徴や利用方法の説明など丁寧な対応に努めてまいります。

(4) 平田文化館

平田文化館は地域に根ざした文化交流の場として、コンサート、講演会、展示会及び会議等に広く利用いただいています。

また、平田地域の文化の向上を図るため雲州平田文化協会及び加盟する23団体の活動を支援し、文化館を主会場としたイベント等を開催することにより地域の文化の拠点としての役割を果たしてまいりました。

しかしながら、平成25年度は学校施設の耐震化工事により児童生徒の臨時的な利用もあり増となりましたが、平成26年度はこのような臨時的な利用もなく、また料金体系の見直しの影響も加わり利用回数、利用者数、利用料収入とも減少しました。

文化館全体の利用料収入は7,215千円で、前年度より277千円、3.7%の減収となりました。

今後とも、多目的に利用できる大ホールの特徴を生かし、また住民ニーズ等も考慮し更なる利用の促進に努めてまいります。

(5) 大社文化プレイスうらら館

うらら館では、地域に根ざした親しみのある施設運営を目指し、音楽会、講演会など様々な文化活動の拠点としての役割が果せるよう管理運営を行っています。

また、大社地域の芸術文化の更なる振興のため、関係団体が行う芸術文化活動への支援として、継続開催されている『たいしゃ芸術文化祭』の調整支援を行うとともに、地域活動の拠点としてのうらら館の利用促進に努めてまいりました。

しかしながら、出雲大社の正遷宮に関する多様な行事が減ったことなどにより、今年度における施設の利用回数、利用者数ともに減となりました。

その結果、利用料収入合計は、13,512千円で、前年度より1,171千円、率にして8.0%の減収となりました。

本年10月から利用料金の値上げも実施されるにあたり、丁寧な説明に心掛け、理解を求めるとともにリピーターを増やすなど利用促進に努めます。

また、駐車場に関しては、平成25年度より減ったものの、昨年引き続き遷宮の影響で年間を通して多くの県外の観光客が訪れ、うらら館周辺駐車場も混雑しました。敷地内に施設利用者の専用表示をしたり、事前周知を徹底するなど混乱が避けられるよう、今後とも駐車場対策は関係機関とも連携をとり、少しでもスムーズな対応が出来るよう配慮してまいります。

(6) 出雲文化伝承館

出雲文化伝承館の貸館事業においては、縁結び交流館をはじめ出雲文化工房、出雲屋敷、茶室「松籟亭」など特色のある施設の活用を図るべく利用促進に努め、貸出件数は前年度より1件増え、合計962件になりました。一方、利用料収入は5,657千円となり、前年度比180千円、3.1%の減収となりましたが、過去5年間の決算額は、前年度に次ぐ決算額となっています。

平成25年度、出雲大社正遷宮の奉祝事業として開催された「出雲奉祝の花・ダニエルオスト八幡垣・織アート」展で使用された出雲屋敷、松籟亭、縁結び交流館の利用がなくなったものの、特殊要因を除き着実に利用者は増加しつつあると分析しています。

貸出施設の利用者の総数は、延67,337人となり、前年度比23,574人、53.9%の大幅な増加となりましたが、この要因は、「山本二三展」開催によるものです。

本年度は、10月から利用料金の大幅な引き上げ改正が予定されており、利用者の減少が懸念されるため、利用料金改正について丁寧に説明し、引き続きご利用いただけるよう努めるほか、新たな利用者を増やすよう努力します。

(7) 平田本陣記念館

平田本陣記念館の貸館について、本館、展示館、茶室の3施設いずれも利用回数、利用料収入などいずれも減少となりましたのは、イベント会場として利用されていた団体利用が減少したことが挙げられます。その理由として ①条例改正による施設利用料増額によるイベント主催者の負担増や、 ②県・市等による補助金の減額・廃止によるもの等が考えられます。

今後、利用者増対策としては、市内若手作家育成のため作品紹介や、補助金等有効利用できる制度紹介など支援に取り組んでまいります。

また、小学3年生の単元「むかしの暮らし」の授業として本陣記念館2階の民具を利用した授業が好評であり、更に市内学校の利用が増加するよう努めてまいります。

(8)貸館事業資料

出雲市民会館

平成26年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数(回)			利用人数(人)			利用料金(円)		
	H26年度	H25年度	比較	H26年度	H25年度	比較	H26年度	H25年度	比較
大ホール	184	201	△ 17	80,565	80,087	478	8,214,174	9,321,880	△ 1,107,706
楽屋	361	383	△ 22				732,946	780,766	△ 47,820
展示室	104	126	△ 22	3,197	3,871	△ 674	1,536,312	1,978,256	△ 441,944
202多目的室	214	226	△ 12	3,676	4,913	△ 1,237	1,993,311	2,157,613	△ 164,302
301会議室	242	217	25	18,159	14,990	3,169	3,620,294	2,989,736	630,558
302研修室	214	210	4	7,138	7,036	102	2,425,148	2,122,250	302,898
303研修室	179	164	15	992	730	262	484,579	441,745	42,834
304学習室	269	250	19	5,177	5,052	125	1,996,520	1,490,066	506,454
305学習室	225	204	21	3,069	2,980	89	1,685,470	1,368,896	316,574
冷暖房料							5,645,351	6,969,076	△ 1,323,725
設備器具							10,516,038	9,482,330	1,033,708
合計	1,992	1,981	11	121,973	119,659	2,314	38,850,143	39,102,614	△ 252,471

平成26年度大ホール月別催し物開催数

(単位=回)

区分	月												合計	前年度
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
会議、大会、講演会他	4	1	3	1	7	3	5	4	3	1	4	3	39	55
発表会 (吹奏楽、合唱他)	3	4	4	2	2	4	9	8	10		2	2	50	38
コンクール (吹奏楽、合唱他)					3								3	4
コンサート (歌謡、ポップス、演歌他)	2	1	1				4				1		9	13
コンサート (クラシック)			2	3					2			5	12	12
伝統芸能、古典、舞踏他						2	2						4	8
演劇、ショー、映画	1		1	1			1	1		2	1	1	9	7
練習		1	1	17	23	2		2	10		1		57	64
その他													0	0
合計	10	7	12	24	35	11	21	15	25	3	9	11	183	201
休館日(日)	1	1	1	1	1	1	1	1	3	4	1	1	17	17
工事等(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81
稼働日数(日)	9	7	11	18	28	11	20	14	21	3	9	10	161	144
稼働率	31.0%	23.3%	37.9%	60.0%	93.3%	37.9%	66.7%	48.3%	75.0%	11.1%	33.3%	33.3%	46.3%	53.9%

ビッグハート出雲

平成26年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数(回)			利用人数(人)			利用料金(円)		
	H26年度	H25年度	比較	H26年度	H25年度	比較	H26年度	H25年度	比較
白のホール	198	207	△ 9	31,286	31,392	△ 106	2,365,000	2,307,157	57,843
楽屋	265	121	144			0	239,001	259,830	△ 20,829
アートギャラリー	99	117	△ 18	12,040	6,668	5,372	1,501,462	1,465,420	36,042
茶のスタジオ	389	398	△ 9	15,391	12,688	2,703	2,479,857	2,127,710	352,147
黒のスタジオ	393	432	△ 39	11,114	10,609	505	2,357,450	1,937,977	419,473
スタッフ控室	476	496	△ 20	3,446	3,221	225	927,943	627,330	300,613
会議室	434	457	△ 23	6,632	5,704	928	2,068,213	1,577,830	490,383
レセプションスペース	261	271	△ 10	7,678	6,340	1,338	1,493,346	1,396,430	96,916
練習室	785	762	23	2,128	2,144	△ 16	871,950	617,050	254,900
文化サロン	356	420	△ 64	12,336	8,164	4,172	836,675	764,820	71,855
応接室	339	114	225	3,185	886	2,299	1,154,840	413,900	740,940
冷暖房料			0			0	2,806,635	2,422,106	384,529
設備器具			0			0	7,447,531	6,833,229	614,302
合計	3,995	3,795	200	105,236	87,816	17,420	26,549,903	22,750,789	3,799,114

*応接室の利用開始: H25年10月1日より

平成26年度白のホール月別催し物開催数

(単位=回)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
会議、大会、講演会 他		6	2	4	8	4	6	9	8	2	5	8	8	70	84
発表会 (吹奏楽、合唱他)		2		1	2		1		2	2	2	3	1	16	25
コンクール (吹奏楽、合唱他)								2	2					4	2
コンサート (歌謡、ポップス、演歌他)						1		1		1	1	1		5	3
コンサート (クラシック)		2	2	2		1	1	2	1	4	1	1	3	20	31
伝統芸能、古典、舞踏 他							2				1	1		4	14
演劇、ショー、映画					1				1				3	5	7
練習			2	2	14	15	5	3	4	8	5	6	5	69	41
その他		2		1		2								5	0
合計		12	6	10	25	23	15	17	18	17	15	20	20	198	207
休館日(日)		1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	1	1	18	18
工事等(日)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働日数(日)		12	6	10	22	21	13	13	18	15	12	16	19	177	178
稼働率		41.4%	20.0%	34.5%	73.3%	70.0%	44.8%	43.3%	62.1%	55.6%	44.4%	59.3%	63.3%	51.0%	51.3%

平田文化館

平成26年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数(回)			利用人数(人)			利用料金(円)		
	H26年度	H25年度	比較	H26年度	H25年度	比較	H26年度	H25年度	比較
プラタナスホール	103	121	△ 18	22,818	26,419	△ 3,601	3,362,731	3,602,958	△ 240,227
小ホール	86	91	△ 5	4,234	4,797	△ 563	687,445	676,705	10,740
会議室1	111	112	△ 1	3,203	3,513	△ 310	528,622	527,180	1,442
会議室2	49	76	△ 27	2,625	3,661	△ 1,036	279,607	483,420	△ 203,813
和室1	46	61	△ 15	1,464	1,863	△ 399	120,200	185,740	△ 65,540
和室2	40	52	△ 12	1,299	1,827	△ 528	125,923	178,960	△ 53,037
応接室	48	15	33	347	121	226	139,063	47,400	91,663
冷暖房料			0			0	660,259	758,713	△ 98,454
設備器具			0			0	1,311,254	1,031,133	280,121
合計	483	528	△ 45	35,990	42,201	△ 6,211	7,215,104	7,492,209	△ 277,105

平成26年度プラタナスホール月別催し物開催数

(単位=回)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
会議、大会、講演会 他	4	7	4	3		5	5	3	2	1	1		35	26
発表会 (吹奏楽、合唱他)		1					1	1			1		4	12
コンクール (吹奏楽、合唱他)							2						2	0
コンサート (歌謡、ポップス、演歌他)				1		1		2	1		1	2	8	17
コンサート (クラシック)										1		1	2	0
伝統芸能、古典、舞踏 他											2		2	5
演劇、ショー、映画			1					1	2				4	2
練習	2	2		3	2	5		1					15	31
その他	1	2	5			4	3	5	3	2	1	5	31	28
合計	7	12	10	7	2	15	11	13	8	4	6	8	103	121
休館日(日)	5	4	4	5	4	5	4	4	7	7	4	5	58	57
工事等(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働日数(日)	25	27	26	26	27	25	27	26	24	24	24	26	307	308
稼働率	28%	44%	38%	27%	7%	60%	41%	50%	33%	17%	25%	31%	34%	39%

大社文化プレイスうらら館

平成26年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数(回)			利用人数(人)			利用料金(円)		
	H26年度	H25年度	比較	H26年度	H25年度	比較	H26年度	H25年度	比較
だんだんホール	147	175	△ 28	36,132	38,592	△ 2,460	3,015,886	3,027,150	△ 11,264
楽屋	308	359	△ 51	/	/	/	418,922	496,950	△ 78,028
ごえんホール	128	156	△ 28	7,058	10,418	△ 3,360	1,799,881	2,115,680	△ 315,799
第1会議室	138	153	△ 15	2,370	2,780	△ 410	391,052	398,630	△ 7,578
第2会議室	129	138	△ 9	365	7	358	358,428	362,380	△ 3,952
第3会議室	86	86	0	405	212	193	508,801	548,310	△ 39,509
だんだんテラス他	1	12	△ 11	0	20	△ 20	1,233	0	1,233
冷暖房料	/	/	/	/	/	/	1,073,278	1,206,365	△ 133,087
設備器具	/	/	/	/	/	/	5,944,838	6,527,845	△ 583,007
合計	937	1,079	△ 142	46,330	52,029	△ 5,699	13,512,319	14,683,310	△ 1,170,991

* 第1会議室、第2会議室を同時に利用された場合の利用人数は、第1会議室に計上しています。

平成26年度だんだんホール月別催し物開催数

(単位=回)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
会議、大会、講演会 他		1	2	5		7	5	3	3	2		2	30	35
発表会 (吹奏楽、合唱他)	3		4	4	2	3	5	10	5	5	1	6	48	52
コンクール (吹奏楽、合唱他)													0	0
コンサート (歌謡、ポップス、演歌他)									2				2	1
コンサート (クラシック)			2	1		1			1				5	3
伝統芸能、古典、舞踏他								1				2	3	10
演劇、ショー、映画	2	2	1	3		2	1	2		2			15	13
作品展示													0	0
練習	1	1	2	8	18	1	3	1	1			2	38	56
その他						2	1	3					6	5
合計	6	4	11	21	20	16	15	20	12	9	1	12	147	175
休館日(日)	4	4	5	4	4	5	4	4	7	7	4	5	57	57
工事等(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
開館日数(日)	26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	308	308
稼働日数(日)	6	4	9	19	18	13	14	18	10	9	1	10	131	157
稼働率	23.1%	14.8%	36.0%	70.4%	66.7%	52.0%	51.9%	69.2%	41.7%	37.5%	4.2%	38.5%	42.5%	51.0%

出雲文化伝承館

平成26年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数(回)			利用人数(人)			利用料金(円)			
	H26年度	H25年度	比較	H26年度	H25年度	比較	H26年度	H25年度	比較	
出雲屋敷	76	94	△ 18	3,353	11,174	△ 7,821	933,392	1,728,750	△ 795,358	
出雲流庭園	156	141	15	2,164	2,681	△ 517	342,324	308,000	34,324	
松籟亭	54	44	10	3,742	11,197	△ 7,455	657,323	1,020,000	△ 362,677	
本館展示室	33	-	33	20,370	-	20,370	781,698	-	781,698	
文化工房	陶芸窯	46	39	7	247	207	40	149,990	108,000	41,990
	実習室	101	111	△ 10	1,016	1,171	△ 155	68,736	10,500	58,236
縁結び交流館	496	532	△ 36	36,445	17,333	19,112	1,805,857	2,094,700	△ 288,843	
時間外使用	-	-	-	-	-	-	-	44,000	△ 44,000	
冷暖房料	-	-	-	-	-	-	695,055	493,365	201,690	
設備器具	-	-	-	-	-	-	223,275	30,520	192,755	
合計	962	961	1	67,337	43,763	23,574	5,657,650	5,837,835	△ 180,185	

主な施設貸出例	
出雲屋敷	茶会、百人一首、華展、こども和文化教室、結婚披露宴ほか
出雲流庭園	婚礼前撮ほか
松籟亭	茶会、香会ほか
文化工房	陶芸、そば打ち、書道、学習会、こども和文化教室ほか
縁結び交流館	会議、講演会、音楽会、作品展覧会(山本二三展含む)、ダンス、着物展示会ほか

平田本陣記念館

平成26年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数(回)			利用人数(人)			利用料金(円)		
	H26年度	H25年度	比較	H26年度	H25年度	比較	H26年度	H25年度	比較
本館	4	21	△ 17	1,704	3,409	△ 1,705	119,784	149,000	△ 29,216
展示館	14	35	△ 21	3,948	9,727	△ 5,779	317,800	741,000	△ 423,200
茶室	1	5	△ 4	21	364	△ 343	2,570	39,100	△ 36,530
合計	19	61	△ 42	5,673	13,500	△ 7,827	440,154	929,100	△ 488,946

主な施設貸出例	
本館	茶会、イベントほか
展示館	美術展、作品展ほか
茶室	会合ほか

Ⅲ 収益事業

1. 貸館事業

収益事業に係る貸館については、営利を目的とするホールの利用や、物販等のための利用であり、その概況や施設別の状況は、Ⅱ公益目的事業 3. 貸館事業において一括して記載しています。

2. その他事業

(1) 物販事業

ア、平田本陣記念館

利用促進のため企画展示等の受託物販売や図録等を販売し、売上は 61,037 円となりました。

イ、大社文化プレイスうらら館

貸館利用促進のため、切手類や自販機による飲料を販売し、売上は 888,160 円となりました。

(2) 大社図書館管理事業

出雲市立大社図書館は、大社文化プレイスうらら館との合築、複合施設であることから、その施設管理について、施設・設備管理、警備等の業務の一括管理や光熱水費、損害賠償保険料などの一括支払い、消耗品の交換・補充等を受託し、費用は、面積に応じて受託費として収入に計上しております。

IV 理事会及び評議員会の開催状況

〈第6回理事会〉

開催年月日：平成26年(2014)5月12日(月)

開催場所：出雲市民会館302会議室

1. 議題

- (1)第1号議案 平成25年度(2013)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業報告
- (2)第2号議案 平成25年度(2013)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団決算
- (3)第3号議案 平成26年度定時評議員会の開催

2. 報告事項

(1)理事長決裁事項

- ①公益財団法人出雲市芸術文化振興財団職員の給与に関する規則の一部改正
- ②公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事務局規程の一部改正

〈第7回理事会〉

開催年月日：平成26年(2014)9月8日(月)

開催場所：ビッグハート出雲 レセプションスペース

1. 議題

- (1)第1号議案 平成26年度(2014)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正予算(第2号)

〈第8回理事会〉

開催年月日：平成27年(2015)2月25日(火)

開催場所：出雲市民会館301会議室

1. 議題

- (1)第1号議案 平成26年度(2014)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正予算(第3号)
- (2)第2号議案 平成27年度(2015)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業計画
- (3)第3号議案 平成27年度(2015)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支予算
- (4)第4号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団就業規則の一部改正

(5)第5号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団職員の給与に関する規則の一部改正

(6)第6号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団準職員等就業規則の一部改正

(7)第7号議案 第3回評議員会について（補欠の理事の選任に係る書面表決）について

2. 報告事項

①第9回公益財団法人出雲市芸術文化振興財団理事会の開催について（書面表決）

②市の条例改正に伴う施設使用料の改定について

③アルゼンチン債について

④職員異動について

〈第2回評議員会〉

開催年月日：平成26年(2014)5月26日（月）

開催場所：出雲市民会館 302研修室

1. 議題

(1)第1号議案 平成25年度(2013)財団法人出雲市芸術文化振興財団収支決算

2. 報告事項

(1)第6回理事会審議事項

①第1号議案 平成25年度(2013)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業報告

②第2号議案 平成25年度(2013)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団決算

③第3号議案 平成26年度定時評議員会の開催

④公益財団法人出雲市芸術文化振興財団職員の給与に関する規則の一部改正

⑤公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事務局規程の一部改正

(2)第5回理事会審議事項（書面表決）

平成26年度(2014)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正予算(第2号)

(3)第4回理事会審議事項

①第2号議案 平成26年度(2014)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業計画

②第3号議案 平成26年度(2014)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支予算

3. その他

平成26年度指定管理契約

〈第3回評議員・役員合同会〉

開催年月日：平成26年(2014)9月8日(金)

開催場所：ビッグハート出雲 黒のスタジオ

1. 報告事項

①平成26年度(2014)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正予算(第2号)

概要

②平成26年度(2014)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業の進捗状況報告

- 1) 博物館事業「展覧会事業の実際」の発表
- 2) 出雲総合芸術文化祭事業の進捗状況と成果
- 3) 出雲芸術アカデミー事業の進捗状況と成果
- 4) 弦楽4重奏演奏

2. 意見交換会

〈評議員懇談会〉

開催年月日：平成27年(2015)3月9日(月)

開催場所：ニューウェルシティ出雲 百合の間

1. 報告事項

(1)第8回理事会審議事項

①第1号議案 平成26年度(2014)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正予算(第3号)

②第2号議案 平成27年度(2015)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業計画

③第3号議案 平成27年度(2015)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支予算

④第4号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団就業規則の一部改正

⑤第5号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団職員の給与に関する規則の一部改正

⑥第6号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団準職員等就業規則の一部改正

⑦第7号議案 第3回評議員会について(補欠の理事の選任に係る書面表決)について

2. その他の報告事項

- ①第9回公益財団法人出雲市芸術文化振興財団理事会の開催について（書面表決）
- ②市条例の改正に伴う施設利用料金の改正について
- ③アルゼンチン債について
- ④財団職員の異動について

組織

理事会は理事 13 名、監事 2 名、評議員は 12 名で構成しました。職員体制は、職員 28 名、音楽教育指導員 2 名、専門員 1 名、準職員 12 名、臨時職員 3 名の計 46 名でした。

